

第90回 富山眼科集談会

-ハイブリッド開催- (現地+Web)

日時 令和 6年 11月23日(土・祝) 13:30~16:20

場所 富山県民会館 7F 701号室(707号室)

〒930-0006 富山市新総曲輪 4 番 18 号 Tel:076-432-3111

(連絡先)富山眼科集談会事務局 富山大学医学部眼科学教室

〒930-0194 富山市杉谷 2630 Tel:076-434-7363 Fax:076-434-5037

E-Mail: ophthal@med.u-toyama.ac.jp

1. 一般講演(発表7分、討論5分)です。
2. 現地参加を原則といたしますが、ライブ(ハイブリッド)での参加することも可能です。
3. **【Web 参加者について】**
ご自宅等で Web で参加する場合は、Zoom(オンライン)を使用しての参加となります。Zoom参加される方は、事前に下記 QR コード・URL より参加申し込みをお願いいたします。
申込 URL <https://forms.gle/f7RDSSGwkw3UsK7T6>
Zoom 申込期間は、開始:11/5(火)~終了:11/19(火)17:00 までです。
当日 Web 接続の状況が良くない場合もあります。ご了承ください。
4. **【Web 申込必要事項】**
①氏名、②フリガナ、③所属、④専門医番号(会員 ID6 桁)をご記入ください。
申込期間終了後に Web(Zoom)申込者には、ID、パスワードをメール送信いたします。
5. **【会場費について】**全て、振込みとさせていただきますのでご了承ください。
会場参加者は、振込先は当日会場にてご案内いたします。Web 参加者は、ID、パスワード等のメール送信の際に振込情報をご案内いたします。
参加費は 3,000 円です。(会員は無料です)
6. 本会は日本眼科学会専門医制度生涯教育事業(No.59056)です。
7. **【取得単位】会場参加者は 1 単位、Web 参加者は 0.5 単位を取得できます。**
Web 参加者は、視聴の確認が取れた場合に単位を付与されます。(短時間の視聴の場合は認められませんのでご了承ください)
8. 本会は日本医師会生涯教育制度における 1 単位(83)カリキュラムコードを取得することができます。
9. 今回から「眼科臨床紀要」に一般講演は、演題・演者のみ掲載いたします。



会場(707号室)で、ご自分のパソコンを持ってきて頂くと、自分の手元のパソコンで発表スライドをZoomで見れます。(音声、マイクはoffにして下さい)

次回の第91回富山眼科集談会は令和7年6月29日(日)富山県民会館の予定です。

主催 富山眼科集談会

一般講演

13:30 ~ 14:06 (座長) ^{みはら みはる}三原 美晴 (富山大)

1. CASIA2 における解析瞳孔径と角膜乱視の関係

^{みた のりひろ}三田 哲大、^{かき}鷗飼 祐輝、^{あや}渋谷 恵理、^{はつ}初坂 奈津子、^{ささ}佐々木 優、
^{ささ}佐々木 允、^{しば}柴田 哲平、^{みづ}水戸 毅、^{くわ}久保 江理、^{ささ}佐々木 洋(金沢医大)

2. 眼内レンズ亜脱臼緑内障に対する眼内レンズ再固定術の眼圧下降効果

^{さなだ ゆうき}真田 侑季、^{いさ}岩崎 健太郎、^{こもり}小森 涼平、^{あり}有村 尚悟、^{たか}高村 佳弘、^{いぬ}稲谷 大
(福井大学)

3. 転倒後の眼科受診を契機に診断された結節性硬化症の一例

^{すずき としや}鈴木 俊也、^{やま}山田 祐太朗、^{くろ}黒田 文人、^{はら}濱岡 祥子、^{たか}高比良 雅之(金沢大)

14:06 ~ 14:42 (座長) ^{やなぎさわ しゅういちろう}柳沢 秀一郎 (富山大)

4. 糖尿病黄斑浮腫へのトリアムシノロン硝子体注射による1か月後の眼圧上昇は、 前房穿刺で抑えられるか

^{うえた よしき}植田 芳樹、^{わた}渡辺 裕士、^{けん}鎌田 竜馬、^{なま}生駒 透、^{たなか}田中 伸弥、^{はしも}橋本 義弘
(真生会富山病院)

5. Vogt-小柳-原田病における色覚異常の検討

^{なかむら ともこ}中村 友子、^{あべ}阿部 慎也、^{おし}追分 俊彦、^{やま}山崎 仁史、^{はやし}林 篤志(富山大)

6. 黄斑円孔非閉鎖例に対する再手術手技の工夫

^{かとう つよし}加藤 剛、^{やま}山崎 仁史、^{あかい}赤井 亮太、^{たか}高橋 翔吾(高岡市民病院アイセンター)

14:42 ~ 15:20 休憩

特別講演

15:20 ~ 16:20 (座長) ^{はやし}林 ^{あつし}篤志 (富山大)

【会場での講演】

『網膜の再生医療 最近の展開』

^{ひらみ}平見 ^{やすひこ}恭彦 先生

(神戸市立神戸アイセンター病院 副院長)

ES 細胞や iPS 細胞などの多能性幹細胞から、網膜色素上皮 (RPE) や視細胞を含む網膜組織が自己組織化の過程で作成可能であることが報告され、この網膜組織を網膜障害モデル動物に移植すると、移植後に組織が成熟し、ホスト神経細胞と神経接続を形成し、視機能の低下を抑制することが確認された。遺伝性網膜変性の原因は遺伝子変異による視細胞や RPE の機能不全であるが、視細胞変性後も網膜神経節細胞などの神経回路は機能を保持しており、移植による視機能回復が期待される。我々の研究グループは、京都大学 iPS 細胞研究財団提供の iPS 細胞を用いて理研で作成した RPE 細胞や、住友ファーマから提供された神経網膜シートを、加齢黄斑変性や遺伝性網膜変性患者に臨床応用しており、移植組織は安定して観察されている。今後、視機能回復の可能性を引き続き検討し、改良した網膜組織の移植による治療成績向上を目指している。

略歴:

1999 年 京都大学医学部卒業、京都大学医学部附属病院眼科 研修医

2000 年 倉敷中央病院眼科 医員

2003 年 京都大学大学院 医学研究科眼科学

2007 年 理化学研究所 リサーチアソシエイト

2008 年 先端医療センター病院眼科 副医長

(神戸市立医療センター中央市民病院眼科兼務)

2017 年 神戸市立神戸アイセンター病院 診療科長

2019 年 同 副院長